

基本理念

コープこうべは、組合員のくらしと健康を守る生活協同組合として、事業活動、提供する商品、地域社会における環境活動のそれぞれの分野において、「コープこうべ環境憲章」の精神に基づいて行動し、環境保全型社会の創造に積極的に貢献します。

行動方針

1. 事業活動に伴う環境への影響を未然に防ぎ、既存の環境負荷を削減・改善するために、環境マネジメントシステムの運用と是正を行い、取組みの継続的な向上を図ります。
 - (1) 省資源・省エネルギーをすすめ、CO₂排出を削減します。
 - (2) 廃棄物を削減し、食品リサイクルをすすめます。
 - (3) 商品の開発、生産、供給を通じて環境配慮を高め、また容器包装の削減を進めることにより、環境負荷の低減をすすめます。
 - (4) 想定される緊急事態を未然に防ぎ、環境影響を最小限にとどめます。
 - (5) 3R、省エネ、食と環境のつながりなど身近な視点での組合員学習を推進し、環境に配慮したくらしと地域社会づくりに貢献します。
2. 環境関連の法令、条例、その他受け入れを決めた地域社会や関係諸団体等の意見・要望を遵守するとともに、対応システムを確立し、責任をもって運用します。
3. この方針および目標・計画・実績について内外に公表します。

生活協同組合コープこうべ

2014年度環境マネジメントシステム 目的・目標および実績一覧

目的	部署	目標(2014年度)		実績	評価
エネルギーの使用を削減しCO ₂ の排出量を抑制する (省エネ法の目標達成)	全体	エネルギー使用量	前年比1.3%削減	95.9%	○
		CO ₂ 排出量	前年比1.3%削減	96.5%	○
	宅配事業	燃費	前年比1%向上	100.5%	×
	物流	配送1t・kmあたりのエネルギー使用量	現状維持	99.2%	○
	全グループ店舗	エネルギーの使用量	前年比1%削減	95.0%	○
	コープミニ	エネルギーの使用量	前年比1%削減	96.7%	○
	宅配事業	エネルギーの使用量	前年比100.9%以下	101.1%	×
	物流	電気使用量	前年比106.0%以下	102.2%	○
		ガス使用量	前年比2%削減 ※鳴尾浜DCのみ	102.1%	×
	食品工場設備管理	電気使用量	前年比3.7%削減	97.9%	×
		都市ガス使用量	前年比0.7%削減	95.3%	○
		軽油使用量	前年比0.4%削減	96.6%	○
		CO ₂ 排出量	前年比1.0%削減	96.6%	○
資源の節約	食品工場	水の使用量	前年比1.3%削減	100.8%	×
廃棄物の削減	全体	食品リサイクル率	前年維持(69.5%)	70.8%	○
	全グループ店舗	廃棄ロス率	前年維持(6.31%)	6.84%	×
	コープミニ	廃棄ロス率	前年維持(3.31%)	3.46%	×
	食品工場	生ゴミ量	前年比1.5%削減	101.7%	×
		廃プラスチックごみ量	前年比100.9%以下	99.9%	○

評価 ○=目標達成 ×=目標未達and前年より悪化

2015年度環境マネジメントシステム 目標・取り組み

部署	2015		
	重点管理項目	目標値	取り組み
全体	CO ₂ 排出量(子会社含まず)	99.2%	-
	食品リサイクル率 (リサイクル重量÷発生量)	前年維持	-
	店舗ごみ重量	98.0%	-
	廃棄物の適正処理	-	①マニフェスト伝票管理 ②家電リサイクル券管理
	フロン排出抑制法への対応	-	①簡易点検の実施 ②定期点検の実施
全グループ店舗	エネルギー使用量	99.5%	①サーモ調整の徹底 ②独自取り組み1点
	店舗ごみ重量(袋数×平均重量)	98.0%	雑がみ分別ルールの徹底
	マニフェストA票	0件	手順徹底(送り状での送付)
コープミニ	エネルギー使用量	97.3%	①サーモ調整の徹底 ②独自取り組み1点
	店舗ごみ重量(袋数×平均重量)	98.0%	雑がみ分別ルールの徹底
宅配事業	燃費	101.0%	①未誤配多発者への指導 ②内気循環の徹底・チェック
	エネルギー使用量	99.4%	①サーモ調整の徹底 ②所属独自の取り組み
	めーむ回収率	前年+1%	①地域担当ニュースへの記載 ②新規加入者への声かけ継続
	内袋回収率(宅配全体)	前年+1%	①地域担当ニュースへの記載 ②新規加入者への声かけ継続
	車両の燃料漏れ対応	-	①発生時は速やかに所属へ連絡 ②適切な応急対応(油吸着シート使用)の実施
物流	配送1t・kmあたり エネルギー使用量	100.0%	①記録と検証 ②セーフティレコーダーの活用 ③アイドリングストップ検証
	電気使用量	100.0%	①消灯チェック ②記録と検証
	ガス使用量(鳴尾浜DCのみ)	100.0%	①設定温度の点検・巡回 ②空調フィルタの清掃
	燃料漏れ	-	①軽油スタンド管理状況報告 ②対応手順を教育
	マニフェスト管理	-	手順の教育
土づくりセンター	店舗からの回収量	361日回収	施設のメンテナンス徹底
	悪臭の防止 (クレーム0、協定基準値)	-	①臭気点検 ②プロフ停止(7-16時) ③臭気測定と報告 ④緊急事態訓練
商品検査センター	使用後の試薬の適正処理	-	①分別保管 ②マニフェスト管理
	アセチレンガスの漏洩防止	-	高圧ガス管理マニュアルに沿って実施
	排水中和槽の適正管理	-	pH処理装置管理マニュアル、 薬剤管理マニュアル(水濁法)に沿って管理
	試薬の紛失・漏洩防止	-	「緊急時の措置について」に沿って実施
食品工場	電気使用量	99.2%	①ロス削減活動によるエネルギーの削減 ②照明設備の省エネ機器導入 ③蒸気漏れ箇所の迅速な改修 ④冷蔵・冷凍庫・冷暖房の温度管理および設備対策の実施 ⑤省エネ活動によるCO ₂ 排出削減 ⑥配送車の燃費改善活動で燃料削減
	都市ガス使用量	96.9%	
	軽油使用量	99.5%	
	水使用量	98.5%	①ボルトタップの定期点検 ②清掃時の節水 ③配管腐食に伴う水漏れ及び蒸気漏れの迅速な改修 ④ロス削減活動による使用量削減
	生ごみ量	98.3%	①分別の徹底 ②オベミスによるロス削減 ③出荷残ロスの削減 ④食り法⇒リサイクル率98%の維持
	プラスチックごみ量	99.0%	①分別の強化 ②計量ミス撤廃
	自主基準BOD200ppm以下	-	①節水活動による排水負荷の低減 ②雨水排水の管理→海上汚染防止→緊急時対応周知徹底
	薬品など有害物質による 汚染の防止	-	①薬品の商品混入防止→運用・管理の強化、薬品混入時対応→運用の周知徹底 ②廃油・おからの海上流出の防止と流出時の対応の徹底 ③法規制項目の運用管理強化

CO₂削減の取り組み

※コープこうべは全国の生協とともに2005年度を基準としたCO₂削減の自主行動計画を策定しています。

1.2014年度のCO₂排出量実績

業態	排出量(t)	前年差(t)	前年比	おもな増減の要因
店舗事業	53,491	-2,708	95.2%	設備更新(要冷ケース・LEDなど)／改装店舗の休業
生産事業	14,618	-499	96.7%	小型ガスエンジンへの切り替え／排気・照明設備更新／ライ麦パン内製化
宅配事業	10,705	22	100.2%	車両入替／訪問軒数増加／蓄冷剤凍結庫新設
物流	9,353	23	100.2%	LED(鳴尾浜配送センター)／車両削減(低温物流センター)
その他	2,511	-142	94.6%	LED(生活文化センター・協同学苑)／生活文化センター休業
コープこうべ計	90,677	-3,304	96.5%	
子会社計	11,070	-35	99.7%	新工場稼働(コープフーズ)／設備更新(協同食品センター・コープライスセンター)
合計	101,747	-3,340	96.8%	

2.2015年度のCO₂削減計画

業態	排出量(t)	前年差(t)	前年比	おもな増減の要因
店舗事業	53,111	-381	99.3%	【減】設備更新(冷ケース16、空調2、LED18)／【増】C岡本・C山手オープン
生産事業	14,581	-37	99.7%	【減】設備更新(照明、排水制御)
宅配事業	10,637	-68	99.4%	【減】設備更新(冷凍庫2、LED13)、車両更新(124台)／【増】訪問軒数増加
物流	9,082	-271	97.1%	【減】LED、配送コース見直し
その他	2,510	-1	100.0%	【減】設備更新(冷凍庫2、LED13)、車両更新(24台)／【増】生活文化センターオープン
コープこうべ計	89,920	-757	99.2%	
子会社計	11,165	95	100.9%	【減】精米機更新(ライスC)／【増】生産量増加(フーズ)、プレス機(環境S)
合計	101,085	-662	99.3%	

※電気の排出係数は0.423kg-CO₂-kWhを使用(日本生協連の手引きによる)

太陽光発電の取り組み

コープこうべグループが進める太陽光発電

太陽光発電所	所在地	運転開始	出力規模(kW)	2014年度発電量(※1)(kWh)	世帯数換算(※2)(世帯)
鳴尾浜	兵庫県西宮市鳴尾浜	2013年9月	771.8	882,753	245
稲美	兵庫県加古郡稲美町	2013年9月	150.9	176,437	49
北神戸	兵庫県神戸市北区八多町	2013年11月	258.0	287,618	80
姫路東	兵庫県姫路市別所町	2014年1月	309.6	378,786	105
氷上	兵庫県丹波市氷上町	2014年3月	305.3	347,901	97
高槻	大阪府高槻市	2014年6月	257.0	202,394	56
三木三津田	兵庫県三木市志染町	2014年9月	2,590.0	1,473,029	409
合計			4,642.6	3,748,918	1,041

(※1) 高槻、三木三津田発電所は運転開始後の実績

(※2) 一般家庭の年間消費電力量を1世帯あたり3,600kWhとして算出

食品リサイクルの取り組み

2014年度

①リサイクル量		4,252 t
店舗	野菜・肉の加工くず堆肥化(コープ土づくりセンター)	595 t
	魚アラの飼料化	215 t
食品工場	バイオマス発電への投入	887 t
	おからの乾燥・飼料化	580 t
	パン耳等の飼料化	184 t
	廃食油の燃料・熱回収	67 t
	おからの乾燥(水分量)	1,642 t
	製造くずの堆肥化(コープ土づくりセンター)	83 t
②食品廃棄物の廃棄量		1,755 t
リサイクル率 ①÷(①+②)		70.8%
食品リサイクル法上の再生利用等実施率		78.6%

※食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

1. コープ土づくりセンターでのリサイクルについて

神戸・三木・明石・芦屋市内の36店舗から野菜と肉の加工くずを、また食品工場から製造くずを回収しています。回収した加工くずや製造くずは、三木市にあるコープ土づくりセンターで堆肥製造の原料として活用されています。製造された堆肥は土づくりセンターに隣接する(有)みずほ協同農園で使用され、収穫した農作物はコープこうべの店舗で供給されています。

2. 食品工場でのリサイクルについて

- ①豆腐製造の際に発生するおからを乾燥おからにし、飼料の原料として売却しています。この乾燥させる工程で必要な熱源として、工場で発生する廃食油を利用しています。
- ②おから以外の食品廃棄物を分解し、その過程で発生するメタンガスを取り出し、工場内の燃料として活用しています。
- ③製造過程で発生する一部の製造くずを、堆肥化しています(コープ土づくりセンター)。

3R の推進【リサイクル】



<http://eco.coop-kobe.net/recycle/>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

コープこうべの組合員からの回収量

(単位: kg)

回収品目	回収業態		2010	2011	2012	2013	2014
	店舗	宅配					
紙パック	○	○	392,450	419,329	379,216	359,413	329,933
飲料缶	○		304,184	336,303	329,060	325,131	293,795
発泡トレイ	○		296,511	240,374	220,851	203,645	187,959
ペットボトル	○		524,897	564,470	601,400	575,720	533,640
透明トレイ・卵パック	○		12,377	98,309	104,449	109,606	108,686
卵パック		○	32,250	36,386	33,741	28,888	29,601
宅配商品カタログ「めーむ」		○	4,411,220	5,133,220	5,077,418	5,085,350	5,429,221
内袋・帳票袋		○	76,831	95,315	84,264	80,879	80,724

3R の推進【マイバッグ運動】



<http://eco.coop-kobe.net/mybag/>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

1. マイバッグ運動の成果

		2010	2011	2012	2013	2014
持参率	%	90.5	86.0	86.2	86.5	86.7
節約枚数	枚	84,808,578	83,942,614	79,522,651	77,005,401	74,314,847
原油節約量 (200ℓのドラム缶に換算)	本	8,014	7,932	7,515	7,277	7,023

※2011年度4月より大阪北生協と合併し、マイバッグ運動の違いからコープこうべ全体で持参率が86.0%になりました。

※2011年度の持参率は、こうべ地区(1～6地区)90.4%、大阪北地区39.1%

2. レジ袋代金とエコシール寄付金の使途

(こうべ地区)

2014年度に活用したレジ袋代金 43,508,212円

2014年に活用したレジ袋代金の内訳は、下記とおりです。

項目	金額
①コープの森・社家郷山(しゃけこうやま)において、多様な生き物を育む豊かな森づくりのための整備活動と、山とくらしのつながりの体験学習をすすめています。	6,031,660円
②エコファームや産地での体験学習を通して、食べ物の生産現場、生産する人、それを支える生産環境と、私たちのくらしとの関わりに気づく学習活動をすすめています。活用しています。	898,666円
③コープ甲子園口 壁面緑化作業の定期管理に活用しています。	363,960円
④マイバッグ運動の普及啓発に活用しています。	10,869,876円
⑤容器包装のリサイクルに必要な費用の一部に充当しています。	25,344,050円

※こうべ地区では、レジ袋が必要場合、1枚5円を支払いいただいています。

(大阪北地区)

2014年度に活用したエコシールの寄付金 1,052,372円

2014年に活用したエコシール寄付金の内訳は、下記とおりです。

項目	金額
環境分野「小・中学校にエコベンチ19台を寄贈」	532,980円
福祉分野「6カ所の福祉施設に10万円を上限に備品を寄贈」	519,392円

※大阪北地区では、マイバッグをお持ちいただいた方にエコシールをお渡しし、エコシール20枚につき、100円分を「環境分野と福祉分野への寄付金への積み立て」あるいは「お買い上げ金額からの値引き」のいずれかを選んでいただくことができます。

3. 行政や消費者団体とのレジ袋削減協定

	行政区名	締結年月日	三者協定締結日	他社	協定名
1	神戸市	2006年12月27日	2007年12月22日(2011年12月22日更新)	●	レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
2	西脇市	2007年3月13日			マイバッグ運動の取組に関する協定
3	三木市	2007年3月29日	2009年1月16日(2009年1月16日更新)	●	マイバッグ運動の取組に関する協定
4	明石市	2007年5月22日	2011年11月25日	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
5	豊岡市	2007年5月25日			レジ袋削減の取組に関する協定
6	姫路市	2007年5月29日	2008年9月1日	●	姫路市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定
7	相生市	2007年5月30日	2008年7月20日	●	マイバッグ運動の取組に関する協定
8	芦屋市	2007年5月31日			レジ袋削減に向けたマイバッグ運動の取組に関する協定
9	西宮市	2007年6月25日	2011年3月24日(2015年4月1日更新)	●	西宮市レジ袋の削減等に関する協定
10	丹波市	2007年7月10日			レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
11	稲美町	2007年7月12日			マイバッグ運動の取り組みに関する協定
12	三田市	2007年8月24日	2008年12月15日	●	三田市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
13	加古川市	2008年1月26日	同左		レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
14	上郡町	2008年3月3日	同左	●	マイバッグ持参運動推進の取組に関する協定
15	たつの市	2008年8月8日	同左	●	レジ袋削減に向けた取組に関する協定
16	尼崎市	2008年10月3日	同左(2015年2月19日更新)	●	尼崎市におけるレジ袋削減等に関する環境協定
17	加西市	2009年8月24日	同左	●	加西市におけるレジ袋削減等に向けた取組に関する協定
18	吹田市(大阪府)	2009年10月2日	2009年10月2日(2014年4月1日更新)	●	吹田市におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋の削減に関する協定
19	宝塚市	2011年4月13日	2011年4月13日	●	レジ袋の削減等に関する協定
20	豊中市(大阪府)	2008年4月13日	2008年4月13日(2012年12月8日更新)	●	豊中市におけるマイバッグ持参促進及びレジ袋の削減に関する協定

環境学習／くらしの見直し 【コープの森・社家郷山での森林整備・学習活動】

1. コープの森・社家郷山での活動参加人数

		2010	2011	2012	2013	2014
合計	人	507	671	810	1,120	1,503
組合員・市民	人	408	561	480	778	1,219
職員・スタッフ など	人	99	110	330	342	284

※行政や他企業主催の社家郷山フィールドでの学習・活動への参加人数も含むため、下表の活動人数の合計とは一致しません。

区分		月 日	内 容	活動人数
組合員向け 学習イベント	エコひろば ～食・くらしと環境とのつながりに 気づく導入プログラム	8月2日(土)	社家郷山の生きもの体験隊① ～見つけてみよう！山の生きもの・水辺の生きもの～ 協力：神戸女学院大学・遠藤知二研究室	30
		9月23日(火・祝)	ももたろうの時代にタイムスリップ	38
		11月30日(日)	社家郷山ハイキング～山とくらしのつながりを知ろう	16
		2015年2月14日(土)	社家郷山の生きもの探検隊② ～鳥のプチ博士になろう！～ 講師：日本野鳥の会・兵庫支部 杉田義彦さん	17
	遊ぼう屋 ～食農、循環、生物多様性を学ぶ ステップアップ・プログラム	5月24日(土)	社家郷山でやまもり体験	23
		7月27日(日)	夏休み自由研究 田んぼ・畑の生きものかんさつ	28
		10月25日(土)	ハイキング&ワイルド野外調理	30
	もりの子育て ～未就園児と保護者のための 自然体験・生活体験サポート・プログラ ム	4月13日(日)	もりの子育て①(フコク生命主催)	4
		10月11日(土)	もりの子育て②(フコク生命主催)	48
		11月26日(水)	森のたんけん～もりのピンゴ(コープこうべ主催)	12
		11月27日(木)	秋の森で自然となかよし(西宮市主催)	18
		2015年3月5日(木)	焼き芋つくってみませんか	24
	3月12日(土)	親子でカレーづくりにチャレンジ(西宮市主催)	34	
ボランティア 育成	にしのみや都市型 里山ボランティア育成セミナー ～社家郷山・甲山周辺の 保全整備を支えるボランティア育成	6月22日(日)	<第1回>講義：里山の今昔と生物多様性保全 フィールドワーク：コープの森・社家郷山の取り組みと四季の道散策	74
		9月21日(日)	<第4回>講義：実技：植物観察と植生調査 フィールドワーク	45
		11月8日(土)	<第5回>フィールドワーク：立木の伐採方法を学ぶ 実技：森林整備実習	42
ボランティア 定例活動	組合員ボランティアによる 里山の保全・整備活動	4月19日(土)	草はら観察要領学習、春の花点検	6
		5月10日(土)	ネコヤナギの池周辺整備	6
		6月14日(土)	在来種タネ広い、苗の植え付け	15
		7月5日(土)	万葉の草はら除草	6
		10月18日(土)	甲山ビューポイントの除伐、ウラジロ除草	5
		11月15日(土)	野草苗植え、種採取	9
		2015年1月24日(土)	ほくら、シンボルツリー周辺整備	9
		2月7日(土)	15年度活動計画会議、ネコヤナギの池周辺整備	7
		3月14日(土)	ネコヤナギ池、草原周辺整備	7
		4月27日(日)	かぶとやま荘土手整備	7
	職員ボランティアによる 里山の保全・整備活動	5月4日(日)	学習イベント体験エリアの整備	4
		6月14日(日)	草はら柵づくり、シンボルツリーひろば除草	9
		7月6日(日)	コバミツひろば整備&ボランティア養成講座	15
		8月24日(日)	チップひろば、ネコヤナギの池周辺整備	6
		9月7日(日)	学習イベント体験エリアの玉切り材運びだし	10
		10月12日(日)	四季の道整備	1
		2015年1月18日(日)	かぶとやま荘土手、低木林エリア除伐	8
		2月8日(日)	学習イベント体験エリア奥の常緑除伐	14
		3月15日(日)	コバミツひろば整備	10
		その他	会議・調査活動など	8月7・8・21日
11月12日(水)	森林・山村多面的機能発揮対策交付金現地視察			6
12月12日(金)	整備ポイント確認			6
2015年1月18日(日)	社家郷山の歴史的植生成成過程の調査(嵯峨と水辺研究所)			2
2月20・21・23・24日	枯マツ・常緑低木伐採、つる・シダ刈払い(兵庫県森林組合連合会)			のべ18
地区や地域で企画した イベント・学習活動	3月27日(金)		コープの森・社家郷山森林保全活動推進委員会現地視察	25
	4月28日(月)		レンジャーくらぶイベント「社家郷山を歩こう」	10
	8月5日(火)		コープの学童保育Terakoya遠足「コープの森・社家郷山に行こう」	35
	8月8日(金)		夏休み あそびっ子ウィーク	38
	9月8日(月)		山手コープ委員会視察学習	20
	9月29日(月)		東加古川&稲美コープ委員会 視察学習&交流企画	32
	10月1日(水)		第6地区コープ委員 視察学習&交流企画	21
	10月8日(水)		柏原&西脇コープ委員会 視察学習&交流企画	20
	10月11日(土)		コープこうべ食とくらしをつなぐサポーター養成講座15回目	6
	10月29日(水)		有野&からとコープ委員会 視察学習&交流企画	26
	11月7日(金)		西宮北&三田西コープ委員会 視察学習&交流企画	20
	11月19日(水)		コープこうべ食とくらしをつなぐサポーター養成講座18回目	15
	11月21日(金)		第5地区コープ委員 視察学習&交流企画	33
	11月28日(金)		甲東園&甲陽園コープ委員会 視察学習&交流企画	25
	2015年3月30日(月)		レンジャーくらぶイベント「社家郷山を歩こう」	15

注)第2・3・6回は甲山をフィールドに実施。

環境学習／くらしの見直し 【コープこうべ環境基金】



<http://eco.coop-kobe.net/ecofund/>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

1. 助成団体および助成総額

		2010	2011	2012	2013	2014
助成団体	団体	32	16	20	20	24
助成総額	千円	2,900	2,900	2,850	2,800	3,000
信託財産残高	円	383,414,034	378,783,420	377,549,732	375,558,879	374,227,860

2. 2014年度の助成団体 ★:2014年度にはじめて助成を受けた団体。

■自然環境保全に向けた実証的調査・研究部門・・・3団体(総額80万円)

	団体名	活動内容／助成対象
1	たつの・赤トンボを増やそう会	アキアカネの卵保管と田んぼへの放流、小学校と連携して田んぼでの自然体験学習の実施。 ※ヤゴ飼育餌、飼育かごなどに活用。
2	特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所	オオサンショウウオの産卵巣穴に関する研究(生息河川の水溫調査、固体確認調査、行動調査)。 ※データロガー、監視カメラ、記録媒体などに使用。
3	丹波地域のホトケドジョウを守る会	ホトケドジョウ保全を目的とした生息地の再生と造成の実証的調査・研究活動と、生息地保全について地域住民への理解を促す。 ※生息地造成用機材等、講師謝礼、参考資料購入に活用。

■自然環境保護および啓発の実践活動部門・・・21団体(総額220万円)

	団体名	活動内容／助成対象
1	須磨ふるさと生き物サポーター	神戸市須磨区旧市街地地域の在来生物と環境の保全のための整備、生き物調査・観察会の実施。 ※生き物標本作成、採集用具、森林整備用具、資料購入費に利用。
2	特定非営利活動法人 あいな里山茅葺同人	甲南女子大学ふれあいの森野外教室づくり、植生調査、親子向け地域交流イベントの実施。 ※苗床・棒駒種菌の購入、講師謝金に活用。
3	ブナを植える会	但馬地方、六甲山でのブナの植樹及び育樹活動。養父市ではブナ林開放を通じ、緑の少年団の交流会などを開催。 ※植樹・育樹用具、書籍購入、バス借上げ料の一部に充当。
4	高砂海浜公園海辺の保全集いの会	高砂海浜公園海辺の「アオサ」を回収し、堆肥化するプロジェクト。地引網イベントなどを通じ、漁業資源と環境とのつながりの学習を実施。 ※アオサ回収用具、地引網体験料に活用。
5	宝塚エコネット	宝塚市にある松尾湿原の再生・保全のための間伐・草刈・落ち葉かき、植生調査や自然観察会の実施。 ※講師謝金、消耗品購入等に活用。
6	稲土自治会	加古川の源流域で、クリンソウの生息環境保全に向けた杉林整備、ヒメボタル鑑賞会を実施。 ※草刈り刃・資材等購入、講師謝金、看板作製費などに利用。
7	★鴨庄オオムラサキ飼育の会	丹波市鴨庄村流域で、国蝶オオムラサキの舞う里の再現をめざし、飼育、観察・研修、榎・クヌギの植樹を行う。 ※榎苗、ゲージ材料、講師謝礼等に利用。
8	あいな野草くらぶ	神戸市北区で、里山再生のための除草、下草刈り、観察会・イベント等の啓発活動を展開。 ※土・肥料・苗代、講師謝金、研修費などに利用。
9	★東お多福山草原保全・再生研究会	六甲山系のススキ草原の再生、維持管理に向けた除草等の整備及び植生調査を実施。 ※刈払機の替刃、燃料等に活用。
10	一般社団法人 ハチ北高原自然協会	ハチ北高原の草原環境再生に向け、市民参加のもとオミナエシの播種・育成、雑草の除去を行う。 ※育苗用の肥料、ポット等の購入費に充当。
11	獅子か池を美しくする会	神戸市長田区北部にある池周辺で、里山保全のための下草刈り、樹木の剪定、自然観察会を実施。 ※ベンチ・倉庫補修資材、刈払機・替刃の購入に充当。
12	淡路東浦ため池・里海交流保全協議会 (旧:浦川地域ため池・里海保全協議会)	漁業資源を豊かにするための、ため池管理者と漁業者が連携したかいぼり(池の清掃)とその効果検証、小学生への環境教育を行う。 ※雨具購入、かいぼり用土木機具稼働費に充当。
13	よこおみち森もりの会	神戸市須磨区横尾地区での野路菊育成、友が丘地区での竹林・雑木林整備、清掃、及びイベント等で学習活動を展開。 ※道具庫及び設置資材購入費などに使用。
14	★南但馬の自然を考える会	氷ノ山山麓の鶴縄源流に自生する立金花(りゅうきんか)について、鹿防護ネット設置等による保護活動の実施。 ※防護ネット材料・設置資材購入に使用。
15	多紀連山のクリンソウを守る会	多紀連山に自生するクリンソウを保護し、不要木の除伐や遊歩道の整備を通じて自生地及び周辺環境の保全を行う。 ※遊歩道の材料費、講師謝金、調査用消耗品費などに活用。
16	武庫川流域圏ネットワーク	流域の自然環境保全を行う市民活動の発展に向け、武庫川に関する情報発信、活動報告会の開催、自然探索を兼ねた清掃会などを実施。 ※清掃用具、講師謝金などに活用。
17	兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	数少ない生息地であるハチ高原において、幼虫の食草であるオミナエシの増殖、植栽を通じて生息環境の維持、生息状況調査・観察会などを行う。 ※苗代、育苗委託費に充当。
18	田君川バイカモ保存会	群生するバイカモ(梅花藻)保全のための補植、草刈り及び自然体験学習の実施。 ※チップソー・燃料、作業用手袋、肥料購入などに使用。
19	兵庫丹波オオムラサキの会	越冬幼虫の生息状況調査と、これに基づく榎林周辺の清掃等による環境整備。ならびに小学校での環境学習支援。 ※整備用具、講師謝礼、教材印刷費などに活用。
20	ブルーアンドグリーンネットワーク	神戸・明石海岸の海浜植物、貝類等の生息状況を把握し、海の「水」から自然環境や生物多様性の重要性を伝える学習を展開。 ※報告書、マップ作成資材等に活用。
21	★兵庫県生物学会 西播支部	姫路市福泊海岸の海岸砂丘植生の定点調査により、人工砂浜海岸が自然砂丘植生に復元する過程を研究。 ※調査用備品、講師謝金、報告書作成消耗品などに活用。

環境学習／くらしの見直し 【コープともしびボランティア振興財団】



<http://www.tomoshibi-found.or.jp>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

1. 環境分野の助成グループおよび助成総額

		2010	2011	2012	2013	2014
助成グループ数	グループ	32	29	26	29	26
助成総額	千円	1,254	1,462	1,379	1,571	1,298

2. 2014年度の環境分野の助成グループ

	グループ名	構成員数	活動内容	活動対象
1	サンフラワーきよしが丘	25	住民が地域花壇、公園に四季花植栽管理、花木情報交換の場提供	地域住民
2	芦屋市西浜公園を楽しむ会	30	市立西浜公園に四季花植栽・維持管理と樹木剪定 紅葉コンサート開催	地域住民
3	あそびの縁日	13	草木、実、枝等を利用した手作りおもちゃを子供達に伝承し遊ぶ	子ども
4	あんだんて	9	コープリビング甲南で高齢者対象に花と緑で園芸セラピー	高齢者
5	伊丹環境ネットワーク	15	11グループの環境団体から構成されアースデイの開催や環境調査	地域住民
6	ウエッキーズ	19	学校、福祉施設の庭・樹木の剪定、整枝、維持管理や害虫駆除	地域住民
7	鴨の花人	5	自治会館、バス停周辺に四季花植栽維持管理 住民に園芸情報提供	地域住民
8	花・果・d o	20	(財)プラザコム施設周辺に四季花と果樹植栽・維持管理	地域住民
9	北はりま地域づくり応援団	11	どんぐりっ子の森の自然林を活用し幼、小児童が自然観察やキャンプ	子ども
10	グループ緑のこだま	30	地域の公園とバス停前花壇に四季花植栽・樹木剪定 木工教室開催	地域住民
11	クレセント	14	仁川デイサービスセンターの花壇に四季花植栽・維持管理	高齢者
12	県立がんセンターボランティア	40	県立がんセンターの庭園、花壇に四季花植栽・維持管理	病院・施設
13	コミュニティひばり環境部会	84	里山保全活動で地域住民による森林整備と自然観察会を定期的開催	地域住民
14	県立西宮病院ボランティアフラワーグループ	6	病院敷地内と周辺の花壇とプランターに四季花植栽・維持管理	病院・施設
15	Cheer Green(緑花応援隊)	12	宝塚市山手小学校横のコミュニティスペースに四季花植栽・管理	子ども
16	仁川バラの会	18	宝塚市立第1中学校花壇を維持管理 PTA、地域住民対象に講座開催	青少年
17	ハーモニー	18	宝塚市逆瀬台小学校花壇を地域住民と生徒が一緒に管理クラブ指導	子ども
18	メリーポピンズわかくさ	15	宝塚市立わかくさ保育所の花壇に園児と一緒に四季花植栽・維持管理	子ども
19	山田の里グリーンクラブ	40	親子三世代の体験型環境学習、山林手入れ・里山道、棚田の整備	地域住民
20	ゆめひろば	15	宝塚市立高司児童館の花壇に四季花植栽、ビオトープ(池)管理	子ども
21	ゆめごてん	8	特養夢御殿山施設のペランダに花壇を設け四季花植栽・維持管理	地域住民
22	り・ゆーず	5	牛乳パックと和紙を利用し小物作りで高齢者やデイ通所者と交流	高齢者
23	レインボー	17	高齢者施設「晋栄福祉会中山ちどり」の花壇造成、管理	病院・施設
24	のじぎくネット	20	兵庫県花であるノジギクを東山公園で栽培、公民館にて講座開催	不特定多数
25	平谷川のホタルを守り育てる会	73	平谷川にホタルの幼虫を放流、小学校等でホタル学習を実施	子ども
26	共生ひろばチーム	12	伊丹駅前に隣接のポケット公園の花の植え替え、土壌改良	地域住民

エコファーム利用者の推移

年度		2010	2011	2012	2013	2014
体験農園(貸し農園)区画数	区画	422	376	360	327	307
エコファーム講座参加者数(のべ)	人	524	340	373	276	274
マイファーム(ミニ農園オーナー制)参加家族数(のべ)	家族	1,283	1,220	1,274	1,190	1,124
視察学習訪問者数(のべ)	人	2,658	2,473	2,401	2,565	1,912
エコファームくらぶ(ボランティア)参加者数	人	292	126	57	94	36

エコファームの(有)みずほ協同農園売上高推移

年度		2010	2011	2012	2013	2014
総売上高	千円	88,496	79,787	87,561	83,734	84,293
うち野菜売上高	千円	66,594	57,430	65,755	62,488	64,333

コープ土づくりセンターの実績

年度		2010	2011	2012	2013	2014
食品残さ回収量(原料投入量)	トン	644	664	584	507	671
堆肥生産量	トン	370	233	213	249	293

組合員の声

1. 組合員から寄せられた意見数と構成比

	2010		2011		2012		2013		2014	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合 計	250	100	241	100	154	100	152	100	158	100
リサイクル活動	121	48	108	45	80	52	81	53	96	61
マイバッグ運動	94	38	95	39	54	35	52	34	36	23
事業面の取り組み	6	2	23	10	5	3	2	1	5	3
組合員活動全般	15	6	11	4	3	2	5	3	15	9
その他	14	6	4	2	12	8	12	8	6	4

2. 2014年度の意見の内訳

内 容	件数
合計	158
マイバッグ運動 小計	36
大阪北運用	8
応対	8
有料反対	4
レジ袋規格	1
マイバッグその他	15
リサイクル活動 小計	96
回収有無問い合わせ	13
回収要望	33
ルール問い合わせ	12
回収ボックス	13
リサイクルその他	25

内 容	件数
事業面の取り組み 小計	5
省エネ	5
組合員活動 小計	15
エコファーム	6
環境学習など	9
その他	6

【回収要望の品目】
※ペットボトルキャップ
※その他

コープこうべ環境保全のあゆみ

	社会の動き	コープこうべの 考え方と体制づくり	くらしの見直し活動や 地域での活動	商品開発・普及、 包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する 環境負荷削減の取り組み
70年代	1971 環境庁設置					
	1972 国連人間環境会議			田舎娘粒状せっけんを開発		
	1975				空ビン回収システムを整備	
	1977			根菜類13品目のトレイ包装を 廃止		
	1978		買い物袋再利用運動を開始	・食品容器包装フィルムを 塩ビからポリエチレンに変更 ・全店舗の野菜・果物売り場で ノートレイを実施 (一部品目を除く)		
	1979 滋賀県「琵琶湖の富栄養化防止条例」公布					
80年代	1981			・卵パックを塩ビからポリエチレンに ・せっけんキャンペーンを開始 ・有リン洗剤の取り扱いを中止		
	1982		排水チェック活動を開始			
	1984				全店でボタン電池の回収を開始	
	1986		第1回琵琶湖親子見学会を実施			
	1988			タルク入りトレイ (CTFトレイ)の導入		
	1989 フロン全廃宣言採択 (ヘルシンキ会議)	・環境問題対策会議を設置 ・総代会で「くらしの見直し」と地球環境を守る取り組みを強める」特別決議を採択				食品工場にコジェネシステムと排水処理・有効利用設備を導入
90年代	1990		コープの環境月間スタート	・環境統一マーク商品の供給を開始 ・水産物トレイ包装商品の袋包装への切り替え開始 ・フロンガス使用のスプレー式商品の取り扱いを中止	牛乳パックリサイクルが本格的にスタート	・チラシ、包装紙、コピー紙、レシートなどの再生紙化を実施 ・業務用コンピューター用紙などの回収を開始
	1991	環境問題推進室設置	買い物袋再利用運動から買い物袋持参運動に	・環境統一マーク商品にサブマークを導入 ・フードプラン第1号商品開発	・飲料用アルミ缶、スチール缶、トレイ、ペットボトルのリサイクル開始 ・クリーニングコーナーのハンガー回収を開始	
	1992 環境と開発に関する国連会議 (地球サミット)開催		・公益信託「コープ環境基金」を設立 ・環境測定活動スタート			
	1993 環境基本法成立					生産事業部がタービンで自家発電開始
	1995 容器包装リサイクル法成立	・組合員の環境委員会発足 ・環境マネジメント・環境監査システム本格スタート	買い物袋持参運動拡大 (必要な方は1袋5円で購入いただく方式に)		リサイクル推進功労者表彰で「通産大臣賞」を受賞	店舗の生ゴミを回収し堆肥を作る実験スタート
	1996 ISO14001が発効	総代会特別決議として「環境憲章」を採択		・通いコンテナ導入実験を開始 ・冷蔵庫からのフロン回収を開始	・リサイクル制服を採用 ・タルク入りトレイの再生原料を利用した買い物かご導入(～2002)	
	1997 地球温暖化防止京都会議(COP3)開催	環境報告書が環境アクションプラン大賞(環境省長官賞)受賞		小型焼却炉取り扱い自粛	コープミニ全店で5品目回収開始	芦屋市、尼崎市、伊丹市の店舗の魚箱リサイクル開始
	1998 家電リサイクル法成立	コープ武庫之荘ISO14001取得	コープグリーンロード運動をスタート	コープラップ(塩化ビニリデン製)取り扱い中止		・地球温暖化防止活動大臣表彰(低公害部門) ・コープ土作りセンター完成(全店舗にてゴミの計測開始) ・(有)みずほ協同農園発足 ・ディーゼル車のガソリン車への切り替え完了
	1999	・総合品質管理室設置 ・食品工場ISO14001取得		塩素系の食品ラップの取り扱い中止		エコファーム施設の完成

	社会の動き	コープこうべの 考え方と体制づくり	くらしの見直し活動や 地域での活動	商品開発・普及、 包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する 環境負荷削減の取り組み
2000年代	2000 ・食品リサイクル法が 成立 ・循環型社会形成推 進基本法が成立	全事業活動でISO14001取得	・マイかご、無料レンタル袋 制度の導入 ・虹っ子「エコチャレンジ プログラム」をスタート	着物リサイクルショップ 「結」スタート	協同購入の商品情報紙 「めーむ」の回収をスタート	
	2001 環境庁が環境省と なる	第一次環境中期計画策定			協同購入で卵パック 回収をスタート	・協同購入センター加古川に LPGスタンド設置 ・エコファームを本格オープン
	2002	・食品工場ISO14001更新 ・環境推進室設置	・エコファームでマイファーム、 エコファームクラブ開始 ・炭素税に対する見解まとめる ・環境学習ボランティア活動開 始	食の環境配慮基準策定		・「第8回全国環境保全型農業 推進コンクール」の大賞受賞 (みずほ協同農園) ・本部エコワーキング スタイル運動開始
	2003	全事業でのISO14001の 更新	・虹っ子エコ&フード チャレンジプログラムスタート ・コープEARTくらぶが2カ所 で立ち上がる		協同購入で卵パック 回収を休止	食品工場の廃棄物処理設備 完成
	2004	第二次環境中計計画策定	・環境省の「地球環境美化 功績賞表彰」受賞 ・電気削減運動を開始		協同購入で卵パック 回収を再開	・農林水産省の「2004年度 バイオマス利活用優良表彰」 でバイオマス活用協議会 会長賞受賞 ・コープこうべの自主行動 計画策定
	2005 京都議定書発効	ISO14001の環境マネジメン トシステムを食品工場と統合	エコチェックキャンペーン全地 域で展開	・(有)みずほ協同農園の大根が 「三木市議会議長賞」受賞 ・フードブラン管理規定の策定	協同購入・個人宅配の配送時に 使用する内袋回収スタート	・食品工場のバイオマス利活用 の取り組みが「ひょうごバイオ マスecoモデル」第1号に認定 ・ライトダウンキャンペーン 6店舗で試行
	2006	・全事業活動でのISO14001 更新 ・総代会で「マイバッグ運動の 推進とくらし見直しに関する」 特別決議採択	レジ袋のレジ精算スタートに向 け、8店舗で先行実施		協同購入・個人宅配の帳票袋 回収スタート	・コープ土づくりセンターと子 会社の(株)協同食品センター が「平成18年度ひょうごバイ オマスecoモデル」に認定 ・ライトダウンキャンペーン 全店規模で実施
	2007	第三次環境中期計画策定	・レジ袋のレジ精算、食品を扱う 150店舗で実施 ・容器包装3R推進環境大臣 大賞最優秀賞受賞	コープスお買い物バッグの開発		
	2008 ・京都議定書第一約束 期間スタート ・G8環境大臣会合が 神戸で開催		・組合員から募集した エコメッセージをG8環境 大臣会合に含ませて発信 ・兵庫県、西宮市と企業の 森づくり協定締結			・コープ土づくりセンター施設 改修にともない一時稼働停止 ・バイオディーゼル燃料の 取り組みを開始
2010年代	2009		・コープの森・社家郷山の活動 方針が「保全活動推進委員会」 で決定			・省エネ活動の徹底によるCO ₂ 削減の取り組みを、一部の店舗 で実験的に開始
	2010 生物多様性条約第 10回締約国会議 (COP10)が愛知で 開始。			・フードブラン20周年 ・地産地消推進のためコープス に兵庫県産品をアピールする ロゴ“ひょうご発”を導入 ・飼料米を使った 「穂の実りたまご」開発	店舗で卵パック・透明トレイの 回収スタート	・コープ神吉を省エネのモデル 店舗としてリニューアル オープン ・コープミニ御影北の店内照明 すべてを実験的にLED化 ・省エネ活動の徹底によるCO ₂ 削減の取り組みを全店展開
	2011 東日本大震災発生	・創立90周年を迎え、大阪北生 活協同組合と合併 新生コー プこうべスタート。大阪北地区 が加わり、7地区体制になる。	・電力不足問題に対して夏と冬 に省エネの学習会を開催。			・夏場の節電対策を強め、 年間を通じて全事業所で 省エネルギー、CO ₂ 削減の 実施。
	2012	「共に生きる、未来につなげる」 を基本方針として、将来のある べきコープこうべの姿を模索す る「次代コープこうべづくり」 プロジェクトをスタート。				・住吉事務所が関西広域連合 エコオフィス大賞「節電の 励行部門賞」を受賞
	2013		・シンポジウム「「コープの森・社 家郷山」の魅力は高まったか？」 開催		・アルミ付紙パックの 回収スタート	・鳴尾浜配送センターで太陽光 発電を開始。 ・コープ武庫之荘が省エネ型 店舗としてリニューアル オープン
	2014	・ISO14001の認証を返上し、 自主運用に切り替え			・子会社の株式会社あいサポート で店頭回収のペットボトルの プレス作業開始 ・子会社の(株)コープ環境 サービスで宅配商品カタログ 「めーむ」の圧縮作業開始。	・雑がみの分別回収を全店展開
	2015					・再生可能エネルギーを利用 する電力供給を開始 (コープこうべの42事業所に 電力供給)